

H24年秋のトチノキツアー

NPO法人びわ湖トラスト、公益財団法人平和堂財団

4倍以上の申込のあった夏のトチノキツアーでチャンスを逃した方に再度募集を回った結果、32名が参加され、秋のトチノキツアーを夏に引き続き、無料でH24年10月21日実施しました。おかげさまで好天に恵まれ、8時にJR大津駅を出発。大津京に立ち寄りマイクロバス2台に分譲し、鯖街道から、針畑川沿いの狭いくねくね道を通り、源流の森の中にある山帰来と言う地名の所に9時40分頃到着。



そこでは前日からトチノキ祭りが実施されており、会場で受付をすませたあと、その主催者である青木さんに特別にトチノキの巨木ツアーの案内をしてもらいました。県下2番目のトチノキの巨木がある能家に同じバスで出発。15分程で早谷入り口で下車。

小型車なら通れる作業道をいきもの話を聞きながら、横目に熊に皮をはがれた杉の木を見ながら



約40分間歩くと、いよいよ一人巾の沢登り。ここからはNHKの「クイズで知ろう琵琶湖」の番組製作の方と合流。途中ロープの助けも借りながら結構険しい沢を登ること約20分。



眼前に昨年まで県で一番だったトチノキの巨木が悠然とそびえており、皆さん感激！！



山側に立って胸高の胴周りが7m強の大木です。戦国時代から琵琶湖の水源の森の母樹として大切にあつかわれ、空気をきれいにし水をため急な斜面をまもっており、横綱の回しをプレゼントしたいぐらい堂々としていました。この広場はひと昔まえまで胸丈ほどの熊笹が覆っていたが、いまは鹿が下草を全部食べてしまいむき出しの地面が目につきます。



それはさておき、この大トチの下の広場で早速、青木さんの青空教室で大切な自然の生き物の話を聞き、一段落してから思い思



いに弁当をたのしんだり、トチの実を拾ったりしました。そこから5分ぐらいの所に幻の巨木の切り株があり、希望する方と見学してきました。そのとき撮影した現在の伐採根と2年前の伐採直後の切断面の同じアングルでの比較写真や大きさが忍ばれる写真を参考までに貼付します。

皆さん思い思いに自然をふれあったあと足下に注意しながら帰路に就きました。
帰り道はマイクロバスが通れる可能な限り場所まで迎えに来ており疲れた方に乗車してもらいましたが、子供さんはみな自分から歩くと言ってすたすたと早谷の入り口まで歩いて帰りました。
自然たっぷり元気のでる山道では、大人が心配するほど子供はひ弱ではない事に気づきました。



2時過ぎに山帰来のトチノキ祭りの会場に戻り、好みに応じた体験教室です。この体験は有料ですが、写真のようなトチノキのバターナイフ作り、トチのみの殻笛作り、

トチノキの葉クラフトやトチノキエキスによるしぼり染め、トチノキぜんざい、トチもち作りなど、皆さん思い思いになかなかの出来映えの作品をつくり、よい土産が出来たと喜んでいました。山間部の夕暮れは早く4時には帰路に就きました。

主催者の話では山帰来に数百人が集まったのは部落始まって以来ではないかとのことでした。子供さんやご家族の方に御願したアンケート結果では、皆さんからよかったとのコメントを頂き主催者である当びわ湖トラストや平和堂財団も喜んでいる次第です。また支援頂いた西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部様にも感謝いたします。

では最後に全員で **トチノキ元気～！！！！！！**

文責 高木順

